



Home



Search



List



First



Prev

Go to



Next



Last

☐ Include

MicroPatent® PatSearch Fulltext: Record 1 of 1

Search scope: JP (bibliographic data only)

Years: 1836-2006

Patent/Publication No.: ((JP10143413))

[Order/Download](#)[Family Lookup](#)[Find Similar](#)[Legal Status](#)

[Go to first matching text](#)

JP10143413 A
CHANGE SYSTEM FOR DATA
UTILIZATION PERMISSION MODE
MEIDENSHA CORP

Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To eliminate unnatural change by automatically changing a mode to utilization permission or utilization non-permission even for the superior section or inferior section of the utilization form for the mode change of a certain section. SOLUTION: In a processing S1, a utilization permission mode is displayed by the two-dimensional array of the utilization form and user sections in the descending order of the strength of a right. A user interface receives the change instruction of one section of the utilization form and the user section for the display of a two-dimensional array. In the processing S4, whether the present mode of the change-instructed section is the utilization non-permission or the utilization permission is judged. When the present mode is the utilization non-permission in the judgement, in the processing S5, it is changed to the utilization permission and the section where the right is stronger than the user section is changed to the utilization permission. When the present mode is the utilization permission in the judgement, in the processing S6, it is changed to the utilization non-permission and the section where the right is weaker than the user section is changed to the utilization non-permission.

[no drawing]

Inventor(s):

TSUKAMOTO YOSHIHIRO
HENMI HIROYUKI

Application No. 08298271 JP08298271 JP, **Filed** 19961111, **A1 Published** 19980529

Original IPC(1-7): G06F01200

Patents Citing This One No US, EP, or WO patent/search reports have cited this patent.



For further information, please contact:

[Technical Support](#) | [Billing](#) | [Sales](#) | [General Information](#)

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-143413

(43) 公開日 平成10年(1998) 5月29日

(51) Int.Cl.⁶

G 0 6 F 12/00

識別記号

5 3 7

F I

G 0 6 F 12/00

5 3 7 A

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平8-298271

(22) 出願日 平成 8 年 (1996) 11 月 11 日

(71) 出願人 000006105

株式会社明電舎

東京都品川区大崎 2 丁目 1 番 17 号

(72) 発明者 塚本 好広

東京都品川区大崎 2 丁目 1 番 17 号 株式会
社明電舎内

(72) 発明者 辺見 宏幸

東京都品川区大崎 2 丁目 1 番 17 号 株式会
社明電舎内

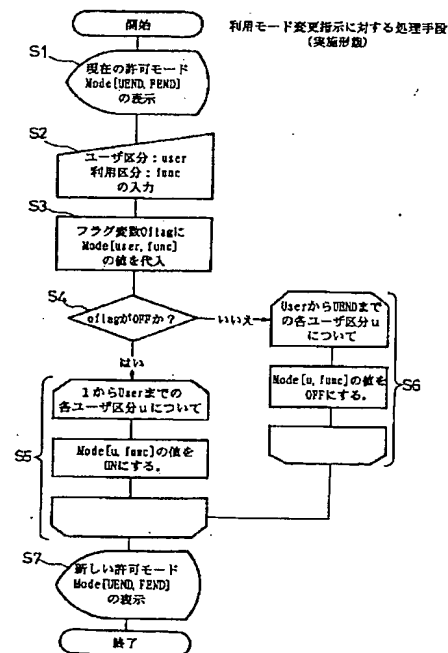
(74) 代理人 弁理士 志賀 富士弥 (外 1 名)

(54) 【発明の名称】 データ利用許可モードの変更方式

(57) 【要約】

【課題】 ファイル等に保存したデータについて複数のユーザが利用許可モードを任意に変更指示すると、変更権限の弱いユーザに強い権限を与えてしまう場合がある。

【解決手段】 利用許可モードを利用形態と権限の強い区分順にしたユーザ区分の 2 次元配列で表示し (S 1)、この表示に対するユーザ区分と利用形態の 1 区分の変更指示を入力し (S 2)、変更指示される区分の現在モードが利用不許可か利用許可かを判定し (S 3, S 4)、現在モードが利用不許可であれば利用許可に変更すると共に当該ユーザ区分よりも権限の強い区分を利用許可に変更し (S 5)、現在モードが利用許可であれば利用不許可に変更すると共に当該ユーザ区分よりも権限の弱い区分を利用不許可に変更し (S 6)、新しい許可モードを表示を行う (S 7)。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 コンピュータのファイル等に保存される各種データに対する利用許可モードを利用形態と権限の強い区分順にしたユーザ区分の2次元配列で表示する手段と、

前記2次元配列の表示に対するユーザ区分と利用形態の1区分の変更指示を受け付けるユーザインタフェースと、

前記変更指示される区分の現在モードが利用不許可か利用許可かを判定する手段と、

前記判定で現在モードが利用不許可であれば利用許可に変更すると共に当該ユーザ区分よりも権限の強い区分を利用許可に変更する手段と、

前記判定で現在モードが利用許可であれば利用不許可に変更すると共に当該ユーザ区分よりも権限の弱い区分を利用不許可に変更する手段とを備えたことを特徴とするデータ利用許可モードの変更方式。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、コンピュータのファイル等に保存される各種データに対する利用許可モード（パーミッション）の変更方式に関する。

【0002】

【従来の技術】複数の人が使用するコンピュータでは、ファイル等に保存した各種データに対して、その所有者（通常、データを保存したユーザ）だけでなく、他のユーザにも「制限付き」で利用可能とすることで、複数のユーザ間で円滑なデータ共有を実現できるようにしている。

【0003】この場合、例えば、ユーザは、所有者と、所有者と同じグループのユーザと、その他のユーザという3つの区分に分け、各区分毎に利用許可と不許可を設定できるようにしている。さらに、同じ区分でもデータの読出し、書込み、実行などのデータ利用形態別に許可と不許可を設定できるようにしている。

【0004】図2は、従来の利用許可モードの設定のためのユーザインタフェース例を示す。同図では、利用者区分を所有者と、グループに属するユーザと、その他のユーザに分け、利用形態を読出しと書込みと実行に分けて設定できるようにしており、このインタフェース画面

【0005】

【発明が解決しようとする課題】従来の利用許可モードの変更方式では、ユーザが任意に設定変更できるため、運用上で不自然な設定をそのまま受け付けてしまうとい

う問題がある。

【0006】ここで、不自然な設定とは、下記表1に示す設定例のように、「所有者」にとって「書込み不許可」でそれ以外のユーザが「書込み許可」に設定され、主な利用者より権限の弱い区分のユーザに強い権限を持たせている。

【0007】

【表1】

	所有者	グループ	その他
読出	許可	許可	許可
書込	不許可	許可	許可
実行	許可	許可	許可

【0008】本発明の目的は、ファイル等のデータの利用許可モードの変更の不自然な設定を無くす変更方式を提供することにある。

【0009】

【課題を解決するための手段】本発明は、ある区分のモード変更には、その利用形態の上位（権限の強い）区分又は下位（権限の弱い）区分についても自動的に利用許可又は利用不許可にモード変更することにより不自然な変更を無くすようにしたもので、以下の構成、コンピュータのファイル等に保存される各種データに対する利用許可モードを利用形態と権限の強い区分順にしたユーザ区分の2次元配列で表示する手段と、前記2次元配列の表示に対するユーザ区分と利用形態の1区分の変更指示を受け付けるユーザインタフェースと、前記変更指示される区分の現在モードが利用不許可か利用許可かを判定する手段と、前記判定で現在モードが利用不許可であれば利用許可に変更すると共に当該ユーザ区分よりも権限の強い区分を利用許可に変更する手段と、前記判定で現在モードが利用許可であれば利用不許可に変更すると共に当該ユーザ区分よりも権限の弱い区分を利用不許可に変更する手段とを備えたことを特徴とする。

【0010】

【発明の実施の形態】図1は、本発明の実施形態を示す利用モード変更指示に対する処理手順図である。

【0011】（S1）ユーザによる利用モード変更指示には、現在の許可モードMode「UEND、FEND」を表示する。この許可モード表示には、各ファイルについて変更モードの状態を保持するデータ領域として、下記表に示すように2次元配列で用意する。

【0012】

【表2】

	ユーザ区分 1 (権限強)	...	ユーザ区分 UEND (権限弱)
利用方法 1	ON/OFF	ON/OFF	ON/OFF
...	ON/OFF	ON/OFF	ON/OFF
利用方法 FEND	ON/OFF	ON/OFF	ON/OFF

【0013】この配列の第1の次元は、ユーザ区分に相当し、最も権限の強いユーザ区分に番号1を与え、以降には権限の1段階弱くなる毎にユーザ区分の通し番号2、3、…、UENDを与える。

【0014】同配列の第2の次元は、ファイルに対する「読出し」、「書込み」などの機能を、利用形態の場合の数(FEND通り)だけ用意する。

【0015】(S2)利用モード変更を行うユーザがユーザ区分userと利用区分funcを入力する。この利用モードの変更指示を受け付ける手段には、図2の場合と同様のユーザインタフェースを使用する。

【0016】このユーザによる入力形態は、1回の利用モード変更指示では1つのフラグのみがユーザによって操作され、同時に2つ以上のフラグが操作されないものとされ、いずれか1つのフラグをユーザが操作することでそのフラグがON(利用許可)とOFF(利用不許可)で交互に切り替えられる。

【0017】(S3)処理S2でユーザによって入力された変更区分Mode「user, func」の値をフラグ変数oflagに代入する。例えば、処理S2での入力内容でuserが前記表2のユーザ区分UENDで、funcが利用方法1とすると、この2次元データがoflagに入力される。

【0018】(S4)処理S3で入力されたフラグ変数oflagの2次元配列に相当する利用モード(表2)の内容がOFFか否かを判定する。

【0019】(S5)処理S4での判定がOFFであれば、1からuserまでの各ユーザ区分uについて変更区分Mode「u, func」の値をONにする。

【0020】例えば、処理S2での入力内容でuser

が前記表2のユーザ区分UENDで、funcが利用方法1であれば、当該区分をそれまでのOFFからONにすると共に、当該区分よりも権限の強いユーザ区分の全てをONにし、利用区分の変更に不自然な設定を無くす。

【0021】(S6)処理S4での判定がOFFでなければ、すなわちONであれば、userからUENDまでの各ユーザ区分について変更区分Mode「u, func」の値をOFFにする。

【0022】例えば、処理S2での入力内容でuserが前記表2のユーザ区分1で、funcが利用方法1であれば、当該区分をそれまでのONからOFFにすると共に、当該区分よりも権限の弱いユーザ区分の全てをOFFにし、権限の弱いユーザ区分にONが存在するという利用区分の変更に不自然な設定を無くす。

【0023】(S7)処理S5又は処理S6で変更された新しい許可モードMode「UEND, FEND」の表示を行う。

【0024】

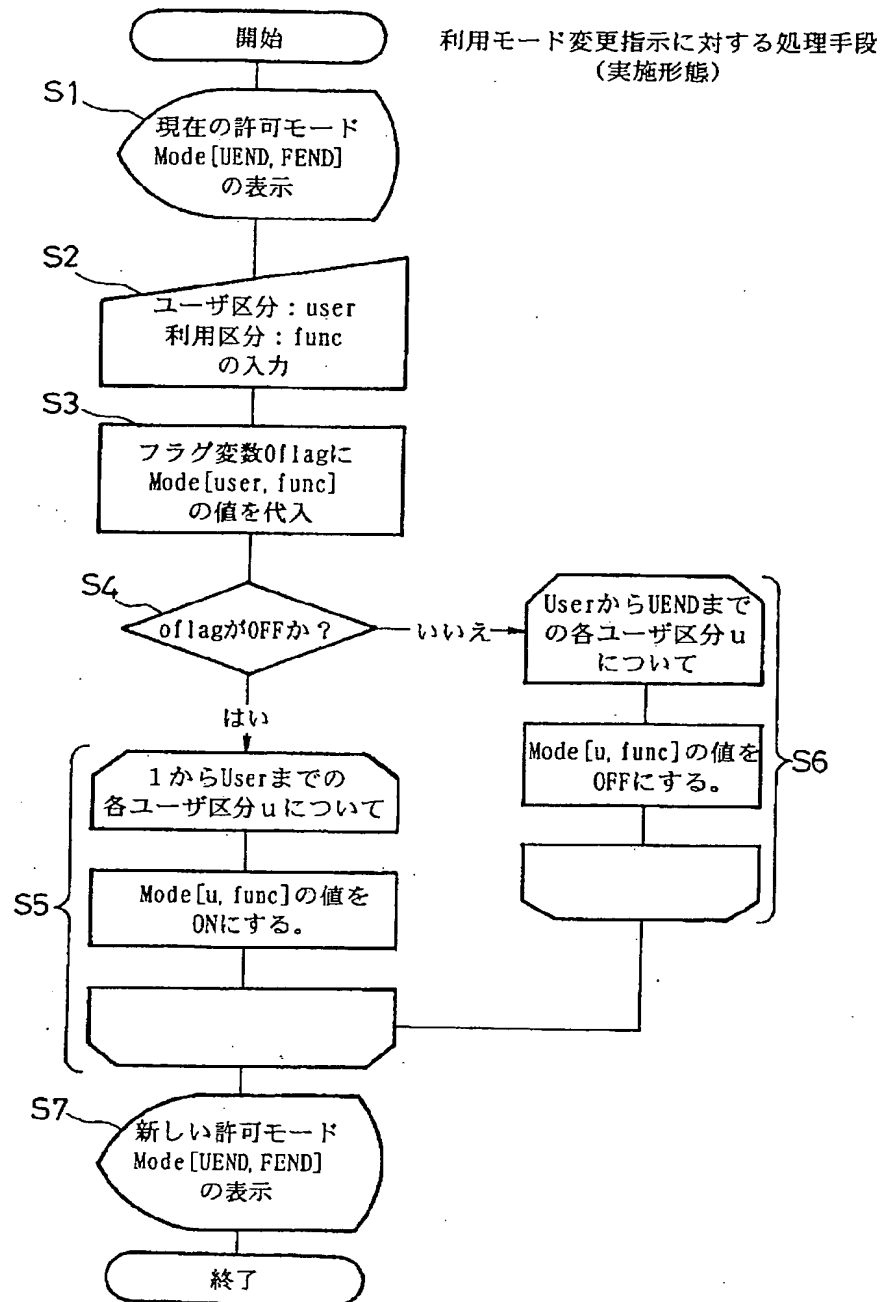
【発明の効果】以上のとおり、本発明によれば、ある区分のモード変更には、その利用形態の上位区分又は下位区分についても自動的に利用許可又は利用不許可にモード変更するようにしたため、ユーザによるモード変更指示に不自然な変更を無くすることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施形態を示す利用モード変更指示に対する処理手順。

【図2】利用モード変更指示のユーザインタフェースの例。

【図1】



【図2】

利用モード変更指示のユーザインタフェースの例

	所有者	グループ	その他	
読出 書込 実行	+	+	+	+
	+	-	→	利用可能
	-	-	-	利用不可